

令和 8 年度事業計画書

令和 8 年度についての題は、入所の超強化型への移行後の安定した運営と通所デイケアのご利用者の回復にある。

特にデイケアについては日光会の収益の柱であり、利用者の増加しない原因の分析と体制を含めた抜本的な見直しを行うことで、改善を図ることが喫緊の課題である。

保育園については定員に対し、ほぼ満額の収入が得られる状況になっているが、認可保育所における 2 人目からの子供の無償化スタートにより、認可保育園へ移ることを希望する保護者が増加しており、また顕著な出生率の低下もあり、入園希望者が今後減少することが懸念される。

入園希望園児を日頃よりしっかり管理し、園児の入れ替わりにスムーズに対応することで、今の状況を維持していくことが重要となる。

技能実習生については、実習終了後も継続して働いてもらえるような対策が必要である。(飲食業界への転職希望などがみられる)

経費面では、適正な人員の見直し、職員の定着率を高めることによる人材紹介料の削減等人件費の抑制に努めるとともに、常に業務に無駄がないかきめ細かく見直しを行っていくものとする。

パート職員の効率的な活用についても進めていく必要がある。

ご利用者へ請求の満足度を高めるために、コロナ時には各種イベントの自粛や縮小、面会制限など大変ご不便をかける結果となった。しかしながら、コロナが収束した今日においても元の状態には戻っていない。(ボランティアの申し出の減少等)

ご利用者の満足度については常に意識しているところであり、より充実した生活を送っていただけるように努力を続けなければならない。

老健やデイケアご利用者と保育園児の交流などは非常に好評であり、可能な限り実施回数を増加させるものとする。

また、ボランティアの受け入れも積極的に働きかけるものとする。

真心からのおもてなしを感じていただけるように、理念研修などを通じて職員の質の向上を図るべく力を注いでおり、職員よりの改善提案も積極的に採用し、ご利用者の過ごしやすい環境整備にも引き続き努力するものである。

経費面では電気料金を始めとした諸物価が高騰しており、採用環境についても介護業界での勤務希望者の減少もあり非常に厳しくなっている。

令和 8 年 6 月 6 日
社会福祉法人 日光会
介護老人保健施設 二葉園